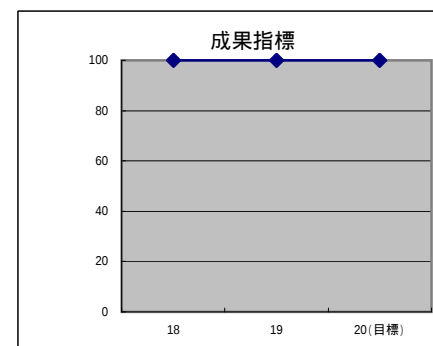
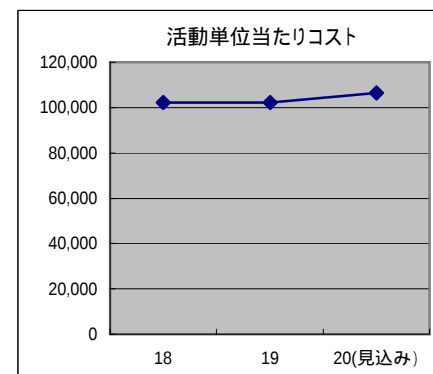


事務事業名		秘書事務		予算科目	会計	1	一般会計	
					款	2	総務費	
					項	1	総務管理費	
					目	1	一般管理費	
					事業	1	秘書事務	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	5	信頼に基づく市民とともに作るまち					
	施策(節)	3	行財政運営					
	施策の方向							
関連する計画等				作成部署	市長公室秘書課			
				連絡先	072 - 958 - 1111 内線 3210			
事業の目的	対象(誰を・何を)							
	市長、副市長							
	意図(どういう状態にしたいのか)							
事業の内容	執務執行を円滑に遂行できるようにする。							
	市長、副市長のスケジュール管理及び交通手段の確保 来客者の対応及び要望・苦情の対応 市内部をはじめ、外部関係機関との連絡調整 関係会議の随行等秘書業務							
根拠法令等								
事業開始時期		☒ 昭和 ☐ 平成 34 年 月開始 ☐ 明確にはわからない		終了年度	平成 年度			
事業開始時からの状況変化								
市民や議会の要望								
実施手法		☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()						
委託先		☐ 外郭団体委託	名称	委託内容				
		☐ 民間委託						

区 分		18年度	19年度	20年度
		(実績)	(実績)	(見込み)
事業費【1】 (千円)		4,945	5,095	6,495
人件費【2】 (千円)		32,340	32,340	32,340
職員数	正規職員	3.85 人	3.85 人	3.85 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	超過勤務(参考) (時間)	27.50 時間	68.00 時間	20.00 時間
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】 (千円)		37,285	37,435	38,835
財源内訳	国費 (千円)			
	府費 (千円)			
	市債 (千円)			
	その他 (手数料・使用料等) (千円)			
	一般財源 (千円)	37,285	37,435	38,835
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		18年度	19年度	20年度(目標)
市長及び副市長の公務日数 日		365	366	365
活動単位当たりコスト (【A】 / 【B】)		102,151 円	102,281 円	106,397 円
市民1人当たりコスト (【A】 / 人口)		310 円	312 円	324 円



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名		指標設定の考え方	平成18年度		平成19年度		平成20年度
	スケジュール調整率(%) 式) 調整日数÷公務日数×100	市長及び副市長の公務日数に対するスケジュール調整日数の割合	目標	100	100	達成率(%)	100	
			実績	100	100	100.0%		
			目標			達成率(%)		
			実績					

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	市の最終意思決定者である市長及び副市長の希望する執務執行を円滑にすることは、必要不可欠な事務である。
		○									

視点	分析のためのチェック点			分析・評価の説明		
	はい	いいえ	該当なし			
妥当性	市民ニーズが高い			☐	☐	☒
	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない			☐	☐	☒
	社会情勢の変化に対応している			☐	☐	☒
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない			☒	☐	☐
	国・府の事業と重複していない			☒	☐	☐
	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい			☒	☐	☐
	緊急性が認められる			☐	☐	☒
効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)			☒	☐	☐
	受益者負担の割合は適当である			☐	☐	☒
	人員を削減する余地がない			☒	☐	☐
	事業費を削減する余地がない			☒	☐	☐
	簡略化できる方法や手段がない			☒	☐	☐
	市の他事業と重複していない			☒	☐	☐
	民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない			☒	☐	☐
有効性	上位の施策(目的)が明確である			☒	☐	☐
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である			☒	☐	☐
	成果を向上させる余地がない			☐	☒	☐
	市民の視点にたってサービスが提供されている			☒	☐	☐
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している			☐	☐	☒
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている			☐	☐	☒
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している			☐	☐	☒
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている			☐	☐	☒
達成度	成果指標の目標値は適正である			☒	☐	☐
	成果指標の実績値は目標値以上である			☒	☐	☐
	成果指標は前年度より向上している			☒	☐	☐

担当 部局 評価	総合評価	
	☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	
	評価の理由	
	市の最高責任者である市長、副市長の執務執行を円滑にすることで、市政の施策展開や課題解決等に対し、迅速かつ的確な判断に至ることは、ひいては、市民サービスの向上及び市の発展につながるものとする。	
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)	
	秘書業務については特殊性があり、見直しについては難しい面もあるが、今後も適正管理に努めたい。	